

保護者様

諫早市立小栗小学校 校長 森 和弘

平成22年度 学校評価報告書

本年度の学校評価を実施しましたので報告いたします。今後、評価結果を基に次年度の計画を立て課題解決に向けて改善を図ってまいりますので、御支援、御協力をお願いいたします。

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら考え、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

2 学校経営方針

- 「和」を基本に、教育目標の共有化と共通理解に立った学校づくり
- 児童・家庭・地域から信頼される地域に開かれた学校づくり
- 互いを磨き合う教職員が協働で取り組む学校づくり

3 重点努力事項

「楽しい学校」 ・学ぶ楽しさ ・遊ぶ楽しさ ・鍛える楽しさ の実現

4 自己評価

(A : 十分に目標達成 B : おおむね目標達成 C : やや不十分 D : 課題が残る)

領域	具体的事項	平均値		領域評価	分析及び改善策
		保護者	教職員		
学校経営・学級経営	学校は保護者の願いや要望に応える教育を行っている。	3.0	3.3	B	中間値を2.5とすると、各項目とも、おおむね目標を達成していると言える。特に、情報公開では、各種プリントの配布だけでなく、HPやSNによる発信を多くしたため好評を得た。また、いじめや生活アンケートを定期的を実施し、結果をもとにして個人面談を行うことで早期発見と早期対応に努めた。
	学校は各種通信やHPで情報や出来事を公開している。	3.4	3.6		
	学校は保護者からの相談に気軽に応じている。	3.1	3.6		
	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	3.4			
学習指導	学校は児童に分かりやすい授業を行っている。	3.0	3.7	B	全職員共通理解のもと、スキル学習、読書、話す・聞く活動に力を入れて取り組んだ。学力調査等ではおおむね良好な結果が出ているが、話の聞き方や話し方など、コミュニケーション能力の育成に更に力を入れる必要がある。
	学校は自主的学習習慣の育成に努力している。	3.0	3.3		
	学校は子どもの学力を適切に評価している。	3.0			
生活指導	学校はルールやマナーが身につくように指導している。		3.5	B	年間を通して「3つのあ」「0の日」に取り組んだ。大きないじめや非行の発生はないが、問題行動や苦情に対しては素早く適切に対処した。
	学校は間違った行動は適切に指導している。	3.1	3.7		
心の教育	学校は道徳心や人権、平和を求める心を育成している。	3.1	3.6	B	毎週の道徳の授業を中心に心の教育を推進している。特に、平和祈念集会と人権集会に向けた各学年の取組と意識づけが充実していた。今後も、課題である優しい言葉遣い、元気なあいさつ、思いやりのある行動に取り組んでく。
	子どもは元気のよいあいさつをすることができる。	2.9			
	学校は子どものあいさつ指導に力を入れている。		3.3		

健康安全	子どもは健康安全に気をつけて生活している。	3. 1	2. 9	C	交通安全指導に関しては、「年3回の立哨指導」「交通安全教室」「集団下校時の引率指導」を実施している。しかしながら、飛び出しによる交通事故の連続発生があった。信号機と歩道の設置について警察に依頼したが急な進展はない。今後も保護者、地域、警察等と協議、連携しながら安全確保に努めたい。
	学校は子どもに体力がつく教育を行っている。	2. 9	3. 0		
	学校は校舎内外の施設・設備の安全管理を適切に行っている。	2. 8	3. 1		
	学校は登下校時の安全指導を適切に行っている。	2. 9	3. 3		
環境	学校は清潔で掃除が行き届いている。	2. 7	3. 0	C	老朽化による見た目の悪さはあるが、掃除は熱心である。
連携	学校は育友会行事などに協力している。	3. 2	3. 5	B	育友会と健全育成会の行事や活動に更に参加協力する。

※ 「保護者アンケート」は会員371人にお願ひし326人から回答をいただきました。回収率は、87.9%でした。
 ※ 文中のHPはホームページ、SNはスクールネットのことです。

5 資料「保護者アンケート」での文章による意見や要望等（53人、下表はのべ人数）

- ・学校の対応や職員の言動への苦情等(8人)
- ・HPやスクールネット、家庭への連絡のあり方について(7人)
- ・施設設備の安全や清潔関係(4人)
- ・子どものあいさつ指導(3人)
- ・交通安全指導の徹底(2人)
- ・校外の生活指導の徹底(2人)
- ・保健衛生指導関係(2人)
- ・いじめへの対応(2人)
- ・「思いやりの心」など道徳心の育成(1人)
- ・給食費の未納問題(1人)
- ・本校の子どもたちの学力の実態(1人)
- ・新しい「あゆみ」について(1人)
- ・学校評価について(1人)
- ・ふれあい農園関係(1人)
- ・ボランティアの心の育成(1人)
- ・学校や担任へのお礼や励ましのことば(21人)

6 自己評価のまとめ

- 保護者アンケートにおける「学校へ行くのを楽しみにしている3.4」と「学校からの情報発信3.4」、児童アンケートにおいても「学校は楽しいことが多い3.4」と「学校には仲のよい友達がいる3.8」という結果は、本年度重点的に取り組んだ内容であり、今後も「学ぶ、遊ぶ、鍛える楽しい学校」を目指して取組を継続していきたい。
- 日々の学習活動、各種学校行事、育友会と健全育成会の体験的な行事等を通して、子どもたちはそれぞれに自分の力を発揮し活躍する場を得たことで、少しずつ変容し成長する姿が見られてきた。さらに、心の教育の充実に力を入れ、内面からの変容も期待したい。
- 保護者アンケートの分析からは、学校周辺の交通事情と校舎の老朽化に伴う安全対策、校外におけるあいさつやマナーの指導徹底の要望が多く、次年度の課題であることを確認した。

7 学校関係者からの提言や意見

- 学校の教育目標や努力事項を育友会も共有化し、同じ目標に向かって学校と家庭が今以上に連携し、生活習慣や家庭学習など、一緒になって子どもたちを育てていくようにしてはどうか。
- 「学習指導」と「生活指導」の平均値は、「保護者」と「教職員」に差が見られる。もっと子どもの目線になって考え、保護者の平均値がさらに高くなるように、先生方の努力に期待したい。

8 対策等の見直し

- 学校の教育目標や努力事項については、学校だよりや学校評価等でお知らせしていましたが、具体的な取り組みの説明が不足していたと反省しています。生活習慣や家庭学習などについて、分かりやすい目標や努力事項を設定し、学校と家庭が一緒になって取り組む内容を考えていきたいと思ひます。
- 本校では、子どもたちにとって分かりやすい授業にしたり、確かな学力を身に付けさせたりするために、年間を通して計画的に授業研究会や実技研修会などの校内研修を行っています。年々出てくる新しい教育課題への対応もあり、即効的な成果を上げることができませんが、今後も、子どもたちを中心に据えた教育活動に努力していきます。

